

【北海道大学主催】日本留学フェア（於ルワンダ共和国）参加機関の募集について

北海道大学は平成26年度から文部科学省委託事業「留学コーディネーター配置事業（アフリカ・サブサハラ）」を実施しております。この度、在ルワンダ日本国大使館、JICAルワンダ事務所及びJSPSナイロビ研究連絡センターのご協力のもと、ルワンダ大学との共催により、ルワンダ共和国キガリ市において、日本への留学を希望する学生や研究者を対象に日本留学フェアを開催いたします。

近年のルワンダの復興は目覚ましく、経済成長も堅調で、現在は域内でのIT立国を標榜し、さまざまな政策が実施されています。共催のルワンダ大学は、既存の大学が統合され、設立された比較的新しい大学で、学生ばかりではなく、教員を含めた人材育成に力を入れています。2015年には、前国連事務総長の発案により、地域横断的中核拠点として持続可能な開発目標推進に取り組む国際NPO法人「アフリカ地域持続可能な開発目標センター（SDGC/A）」がキガリ市に設立され、今後当該国のみならず域内諸国との連携やネットワークの形成も期待されています。

つきましては、下記のとおり日本留学フェアの概要をご案内いたしますので、参加をご検討くださいますようお願い申し上げます。ルワンダ又は近隣国で活動中の教職員の方や、現地在住の留学修了生の方の派遣も可能とさせていただくほか、今回初めてオンライン会議システムによる参加を受け付けいたします。日本から現地への直接のご参加が難しい場合は、併せてご検討ください。

なお、今後の高等教育分野における両国間の連携強化、教育・研究、及び学生交流の可能性に関して意見交換を行う機会提供のため、本フェアに併せて、合同学術交流ワークショップの開催を予定しております。また、これまでのフェア開催時と同様、留学に熱心な現地高等学校での留学説明会の開催も調整中です。

1. 開催日・会場

・日本留学フェア

2018年2月15日（木）及び16日（金） 午前9時から午後1時頃まで（予定）
ルワンダ大学（ルワンダ共和国キガリ市）

・キガリ市内高校視察及び日本留学セミナー

2018年2月15日（木）の午後1～2時間程度（予定）
Green Hills Academy（ルワンダ共和国キガリ市）

2. 日程及びプログラム（案）

2月15日 午前：ルワンダ大学、キガリ市内及び周辺の主要大学と日本の参加大学・機関による
合同学術交流ワークショップ
午後：キガリ市内高等学校視察及び日本留学セミナー

2月16日 午前：日本留学説明会

日本留学の概要説明

国費及びJICA等が実施する留学プログラムの説明

日本留学経験者による留学体験談

日本からの各参加大学による学校紹介（現地参加・オンライン参加者）

質疑応答（現地参加・オンライン参加者）

個別相談（ブース設置の可否は共催大学と調整中です。）

3. 参加費用等

フェア参加費は無料です。ブース設置費用、インターネット接続費用等フェア開催に係る経費については実費をご負担いただく場合がございます。旅費、滞在費は各参加機関にてご負担ください。

4. 参加申込締切日：2018年2月1日（木）

5. 参加申込・問い合わせ先

参加をご希望の場合は、別添の参加申込書に必要事項を記入の上、電子メールにて下記問い合わせ先に送付願います。

*部局からのご参加／資料参加の希望がある場合は、大学の国際交流関係部署とご相談のうえ、各大学で取りまとめて申込み願います。

【問い合わせ先／資料送付先】

北海道大学 国際部国際連携課 海外オフィス・国際協力担当宛

Email: studyinjapan@oia.hokudai.ac.jp

〒060-0815 札幌市北区北15条西8丁目

Tel. 011-706-8028

6. 資料参加及び資料送付に関するご案内

留学フェアの会場には、各大学・機関の資料を配布し、閲覧できるスペースを設置する予定ですので、配布資料の提供のみの参加も受け付けます。今年度は国費奨学金や在外日系機関の実施する留学プログラムに加え、各大学で実施しておられる英語プログラムや経済的支援がなされているコースの紹介をし、より幅広く日本留学の機会について参加者に周知できればと考えております。特に学部レベルでの留学生の一層の増加に努められればと考えておりますので、大学概要に加え、関連コースの資料につきましても是非お送りいただきたく存じます。また、現地への直接の参加、或いはオンライン会議システムでの参加をご希望の場合も、ぜひ配布資料の送付をご検討ください。参加者の手元に資料があることによって、広報活動がより意義深いものになると考えております。

資料参加または当日用配布資料の送付を希望される場合は、記入した参加申込書を2月1日（木）までに上記問い合わせ先／資料送付先に電子メールで送付いただくとともに、同じく2月1日（木）までに資料をお送りください。できれば事前にご一報いただけますと幸いです。資料は本学で取りまとめ、会場に発送いたします。海外発送にかかる費用は本学で負担いたしますので、本学（札幌）までの送付費用は各参加機関でご負担をお願いいたします。なお、重量の上限は1大学につき5kgとさせていただきます。通関上問題となる可能性があるため、印刷物以外は同封しないでください。また、ルワンダではプラスチック製の袋や梱包材の持ち込みが禁止されておりますので、ビニール袋等による梱包（特に外装）は避けてください。

7. その他

- ・ 開催会場やプログラム等フェアの詳細につきましては、参加申し込みをいただいた機関にご連絡します。

- ・ オンラインによる参加は、テレビ会議システム「Zoom」を利用する方向で調整を行っております。詳細につきましては参加を希望される機関に対して改めてご連絡いたします。
- ・ ルワンダ入国にあたってはビザの取得が必要です。ルワンダ入国管理局のサイトからオンラインでビザ申請を行い、必要書類（パスポートのコピー等）を添付すると、3日ほどで、入国ビザ（Entry Visa）の発行を許可する書類のPDFが電子メールへの添付により送付されます。空港到着後、入管窓口でこの書類を提出し、申請料金（未払いの場合）を支払うとパスポートにスタンプが押され、ビザが発給されます。オンライン申請時に申請料金の事前払いを選択できますが、支払情報の不達等のトラブルを避けるため、空港到着後に入管窓口で支払う方が安全のようです。また、2018年1月1日から、パスポート、ルワンダ滞在中の住所、発行手数料を持参することで、日本人も空港到着時にアライバルビザ（30日間有効の入国ビザ）を取得できるようになりました。ただし、本制度は開始されたばかりで、係員全員に徹底されていない可能性もありますので、現地でのトラブルを避けるためにも、できるだけ事前にオンラインで手続きを行うことをお勧めします。（観光ビザ、商用ビザとは種類が異なりますのでご注意ください。）
- ・ ルワンダ、キガリの宿泊ホテルの予約、空港とホテル間及びホテルと会場間の移動手段につきましては、原則各参加機関で手配願います。宿泊先の選定や移動方法についてお困りの際には本学にご相談ください。
- ・ ルワンダはプラスチック製の袋や梱包材の持ち込みや販売が禁止されており、ビニール袋、レジ袋、買い物袋等は外から見える状態で持ち込むと空港の税関で没収されます。（スーツケースや手荷物の中まで確認されることは少ないようです。）また、スーツケース保護用のラップ材も、入国の際に税関で取り外すよう指示され、回収されますが、よほど強硬に抵抗しない限りは、そのために入国を拒否されることはないようです。
- ・ 本学がこれまでに開催した「日本留学フェア」については、本学アフリカルサカオフィスのウェブサイトでご報告しておりますので、ご参照ください。

<https://hokudai-africa-study-in-japan.jimdo.com/%E6%B4%BB%E5%8B%95%E5%86%85%E5%AE%B9/>